

感染症対策マニュアル

2021年5月19日更新

※内容は情勢の変化により変更する場合があります

エントリー

(1) エントリー資格

- **緊急事態宣言が発令されていない都道府県に限る。**
ただし今後の感染症情勢を鑑み、エントリー資格解除を検討する。

開催条件

(1) 開催条件

- ・開催地である熊本県において、**緊急事態宣言およびイベント自粛・外出自粛またはこれに類する要請が発せられていないこと**、もしくは開催当日までに解除になる見込みが明らかであること。

(2) 中止を判断する基準・時期および参加費の取り扱い

- ①**6/14時点で緊急事態宣言およびイベント自粛・外出自粛またはこれに類する要請が発せられていて解除の見込みがない場合**、以下の対応を行う。
A：参加費から1,500円を除いての返金する。
- ②**6/14以降情勢の変化により開催条件を満たさなくなった場合**
A：参加費の返金有無および物品の手配状況などを勘案した上で決定し参加者に案内する。

参加者へのお願い

(1) 健康観察シートの提出

- 大会参加者には大会前2週間分の検温を含む健康観察シートの提出を義務づける。下記に該当する事項がある方は参加を許可しない。
 - ① 37.5℃以上の発熱や喉痛・だるさ・味覚異常などの体調不良がある方
 - ② 新型コロナウイルス感染症陽性の診断を受けた方
 - ③ 家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる方
 - ④ 陽性診断者との濃厚接触がある方
 - ⑤ 日本国外へ渡航された方

(2) 大会中および大会後

- マスク等口を覆うものを持参・携帯し、走行時以外は常に着用すること。
- こまめな手洗い、アルコールによる手指消毒を行うこと。（特にトイレ後は念入りに）
- 他の参加者やスタッフ等との距離（1m以上）を確保すること。
- 大きな声で会話、応援等をしないこと。
- 感染防止のために主催者が決めたその他のルールを守り、その指示に従うこと。
- 大会終了後2週間以内に、新型コロナウイルス感染症を発症した場合や発熱や咳などの感染を疑う症状がでた場合は、大会事務局に必ず報告する。
また、濃厚接触者の有無等についても併せて報告する。

当日の対応

(1) 受付

- 健康観察シートを提出し、検温をした上で、ゼッケンを受け取る。
- 選手は受付会場にて、受付スタッフが検温を行い、**37.5℃**以上の発熱がある選手は出走できない。
- 検温は**非接触型体温計**を使用する。
- 受付会場の入口に消毒液を配置し、手指を消毒した選手のみ受付に進むことができる。
- 受付には**透明ビニールカーテン**を設置し、選手と受付スタッフが直接対面しない。
- 参加者が距離を置いて並べるよう地面に目印を設置する。
- 更衣室や待機スペースは用意しない。更衣は自家用車等を使用すること。

(2) 招集

- スタート10分前にスタート地点に集合する。
- スタッフの指示があるまでマスクを着用する。
- 招集時は選手の配列を**前後左右1m**の間隔をあけて整列する。

(3) 救護

- 医務室は十分な換気をした状態で利用する。
- 救護担当者が処置をする際は、その前後に必ず手を洗うかアルコール等で消毒する。

当日の対応

(4) スタッフ

- 大会当日に選手と同等の**健康観察シート**を提出し、体調不良など不適當な事項がある場合もしくは受付会場にて検温を行い、**37.5℃**以上の発熱がある場合はスタッフとして参加できない。
- **大会中は常にマスク等**を着用し口を覆う。マスクは各自で持参する。
- 活動を始める前、終了後は必ず手を洗うかアルコール等で消毒する。
- 受付、会場内には**衛生管理担当者**を配置する。
担当者は各対策が守られているかチェックリストを用いて随時確認し
複数の人が触れる場所（トイレのドアノブやレバーなど）はこまめに消毒する。
- スタッフ同士及び選手とは**1m**以上間隔を空ける。握手やハイタッチなどの接触は禁止。
- 受付には予備の使い捨てマスクを設置する。
ただし、止むを得ない場合を除き、参加者およびスタッフへの提供はしない。

当日の対応

(5) 応援

- 応援は競技場内トラックの第4レーンまでとする。
- 集団応援は禁止する。
- スタート地点／フィニッシュ地点には立ち入らない。
- マスク等で口を覆い、応援者または選手との間隔を1m以上空けるなどの感染防止マナーに協力をお願いします。

(6) その他

- 給水所は設置しない。各自持参する。
- 上記の内容は情勢の変化に応じて適時、変更する。